

# 進路だより Vol.2

栃木県立佐野松桜高等学校  
進路指導部  
平成 27 年 11 月 19 日

## 1 就職状況について

### (1) 今年度の求人状況

下表 1 は、過去 5 年間の本校に対する求人の推移を表しています。平成 27 年度は 10 月 31 日現在のデータです。平成 20 年度以来、求人が減少してきましたが、25 年度から景気回復の兆しが見られるようになってきました。今年度も、昨年度以上の求人をいただいております、特に地元・佐野市管内の事業所からの求人が、ここ 2 年で大幅に増加しました。

職種別では、事務職の若干の増加がみられました。製造職やサービス職（福祉関係）の求人増加が顕著であり、現在も募集が続いています。

表 1 過去 5 年間の求人の推移

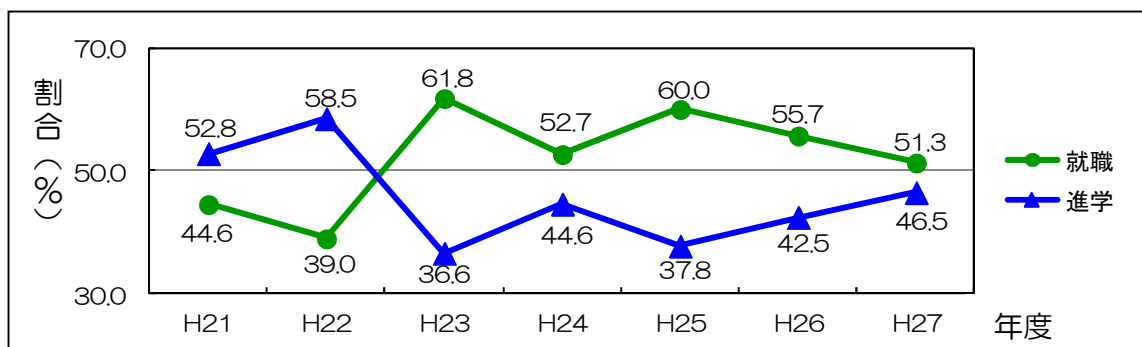
	H23	H24	H25	H26	H27
佐野管内	55	55	70	86	99
栃木県内	80	84	94	112	143
県 外	86	81	114	129	152
合 計	221	220	278	327	394

### (2) 求職の状況

今年度は 3 年生 238 名の 55.7%にあたる、118 名が就職を希望しました（内、公務員希望 4 名）。いずれの学科の生徒も、学校の専門教科で培ったことを活かせる職業を望む割合が非常に高く、その夢を叶えているようですが、求人が多くなったために、迷って会社を選べない生徒も何人かいました。

地域別では、地元からの求人も増えたためか地元志向が一層強くなり、当初、佐野市および足利市内のごく近隣の事業所を希望した生徒が、90 名(80%)を超えました。このため、例年付き合いのある大手企業への希望者が無く、断りを入れる事例も何件かありました。就職先を決定するにあたり、自分の特性を知った上での選択が重要となりますが、大手企業にチャレンジするような考えも持ってほしいと思います。

表 2 進学者と就職者の割合の推移



### (3) 就職内定状況

表 3 は、現 3 年生の就職内定状況（11 月 13 日現在）を表しています。（ ）内の数字は、公務員や自己開拓・縁故による就職希望者数を表しています。学校長推薦で就職試験に臨んだ生徒 114 名全員が 11 月中旬に内定を頂くことができました。1 回目の試験で内定を頂けなかった生徒も、11 月中旬に全員が内定しました。近年では最も早い全員内定、さらには、他校と比較しても非常に高い内定率となりました。参考までに、県内 9 月末の高校生の就職内定率は 52.9%（栃木労働局調べ）で、本校は 78.1%（前年 73.9%）でした。

	受験者数	内定者数	未決定者数	学校推薦内定率
男 子	55 (2)	55 (2)	0 (0)	100.0 %
女 子	59 (1)	59 (0)	0 (1)	100.0 %
合 計	114 (3)	114 (2)	0 (1)	100.0 %

表 3 3 年生の就職内定状況

## 2 進路に関するアンケート結果について

### (1) 就職受験アンケートより

平成 21 年度～26 年度に卒業した 3 年生のうち学校推薦で就職受験をした生徒 604 人を対象に、アンケートをとり、その結果をまとめてみました。

3 年間の欠席日数が少ない生徒は、早い段階で内定が出て、欠席の多い生徒は進学等への変更を余儀なくされる確率が高くなっていることがわかります。また、部活動を 3 年間続けた生徒は、早期内定の確率が高く、一度失敗をしても粘り強く就職活動を継続して遅くなくても内定を頂いています。

(a) 欠席日数と  
受験企業数の関係



	1社	2社	3社	4社	5社以上	内進路変更	進路変更率
0日	204	19	4	2	0	5	2.1
1～9日	272	27	11	2	0	5	1.6
10～19日	28	6	1	0	1	1	2.7
20～29日	9	3	0	0	0	1	7.7
30日以上	10	3	2	0	0	3	16.7

(b) 部活動と内定月  
の関係

	9月	10月	11月	12月	1月以降	進路変更	9～10月内定率
最後まで活動	237	104	16	3	2	9	63.9
途中で辞めた	44	24	6	3	1	2	55.0
やっていない	94	43	6	6	0	4	61.4

### (2) 進路の悩みに関するアンケートより (1・2 年生が実施)

「自分の能力や適性を知っている」生徒が少なく、「自分に合っているものがわからない」生徒が多いという結果が出ました。2 年生では、「社会に出ていく能力があるか自信がない (社会に出て行くのが不安だ)」と答えた生徒が 69.1% いました。1 年次の調査 58.0% より悪化したこととなります。同様に「希望する進路先に合格できるか不安」と答えた生徒も 80.4% で、1 年次の 61.0% より悪くなっています。勉強や部活動に積極的に取り組み、いろいろな場面で自信を付けてもらいたいと思います。

進路相談については、「希望進路を家の人は知っている」の問いでは、2 年生 (86.5%) ・ 1 年生 (72.4%)、「進路について家の人とよく話をする」では、2 年生 (61.7%) ・ 1 年生 (43.9%) となりました。いずれも 2 年生になると、話し合いを家族としている生徒が多くなるようです。

## 3 進路室から

### (1) 進路の決定時期について

今年の 3 年生は動き出しが早く、受験先の決定も早かったように思えます。進学希望者でも学校決定が早い生徒が多くいましたが、一部ではなかなか決定できずに受験申込みが、締切り間際という事例もありました。夏休み中の職場見学では、申込み締切りが極端に早い企業が増えてきました。求人票を見てから企業を選び始めると、職場見学に間に合わなくなってしまいます。

2 年生は、3 年生になった時点で、「ここに就職 (進学) したい」という気持ちを持つことが、1 年生は、2 年生になる前に「就職か進学か」の選択ができていることが望ましいと思われま

### (2) 医療看護系の学校への進学希望者へ

ここ数年、全国的に医療看護系の学校を希望する生徒が増え、試験の受験倍率も高くなっています。また、教育機関も、専門学校や短大から「大学」へ移行しつつあります。このため本校では、例年「医療看護模試」を年に 2 回、2 年生と 3 年生の希望者を対象に実施しています。医療看護に少しでも興味がある生徒は、積極的に受験するようにしてください。

### (3) 就職試験の傾向

高校生の就職試験では面接が最重視されていますが、最近では筆記試験の中で「作文」や「SPI 検査」「YG 検査」といった適性検査を重視する企業も増えてきました。また、大手企業の筆記試験は、内容が難しくなっている傾向にあるようです。普段から、基礎学力を高める努力をしましょう。

また、学校では作文対策指導も行っていますが、普段から「書くこと」や「文章読解」にも力を入れるようにしましょう。